

「学校の履修」レベルと「プログラミング講座」の対応表

各学校での 情報・プログラミングの 履修内容		進研ゼミの プログラミング 講座	代表的な出題項目	
			「Scratch」レッスン	「情報」レッスン
高等学校 (情報Ⅰ)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の問題解決 ・コミュニケーションと情報デザイン ・コンピュータとプログラミング ・情報通信ネットワークとデータの活用 		「情報Ⅰ」レベルに関して、今後さらに対応予定	
	中学校 (技術・家庭科)	レベル 4	関数(ブロック定義)の作成、活用・文字の引数・変数を使ったフラグの作成、活用	デジタル技術による課題解決(IoT・AI等)、配列・関数、ユニバーサルデザイン、UI/UX、散布図、確率、SNSでのコミュニケーション
レベル 3		変数を作る・リストの作成、活用・角度・拡張機能(ペン・音楽)、データ入力	情報のデジタル化、ハードウェアとソフトウェア、閾値と制御、情報通信ネットワーク・セキュリティ、ピクトグラム、オフィス系アプリ基本操作、コンピュータウィルス、ヒストグラム、箱ひげ図	
レベル 2		変数・乱数・条件分岐(if-else文)・等号・不等号・四則演算・座標	演算子(比較・論理・算術)、センサ、アルゴリズム、プレゼンテーション、著作権と引用、個人情報、ネットコミュニケーション、パスワード管理	
	レベル 1	順次処理・繰り返し・条件分岐(if文)・簡易座標・正負の数・データ出力	手順の組み立て、フローチャート、抽象化と一般化、PC基本操作、情報の整理と分析、情報モラルとマナー、ゲーム依存	
小学校 (教科学習を通じて)	<ul style="list-style-type: none"> ・正多角形(5年算数) ・センサ(6年理科) ・総合の時間など 			

※小・中・高の「学習指導要領」を参考に「プログラミング講座」編集部で要約・作成